

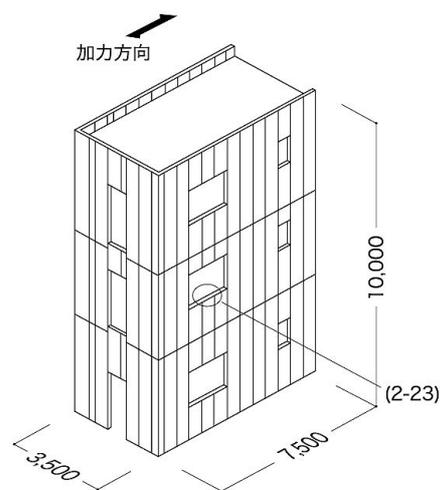
1. 試験日時：平成 10 年 1 月～3 月
2. 試験場所：建設省建築研究所（現 独立行政法人建築研究所）
3. 試験体
 - ・規模 = 3 階鉄骨造 A L C 張壁
 - ・外壁 = A L C パネルロック工法 ・床 = A L C パネル（敷設筋工法）
 - ・開口部 = 鋼鉄扉 1 カ所、引き違い窓 6 カ所、下部滑り出し窓 3 カ所
4. 試験概要

実験は 3 層の鉄骨造試験体による実大レベルで、表に示す各段階で加力試験を行った。なお、試験体に与えた荷重は各層 ±1tonf とした。

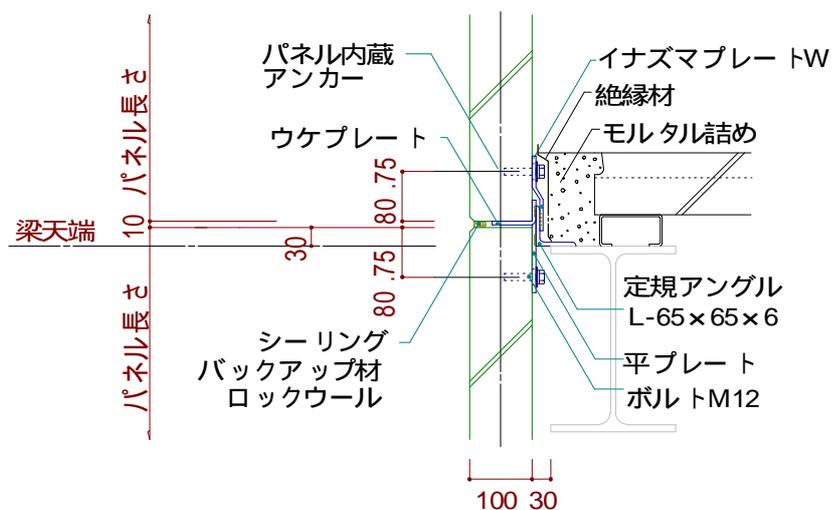
単層加力試験の段階

段階	層間変形角 (rad)				
1	0	+1/500	0	-1/500	0
2	0	+1/300	0	-1/300	0
3	0	+1/200	0	-1/200	0
4	0	+1/150	0	-1/150	0
5	0	+1/120	0	-1/120	0
6	0	+1/100	0	-1/100	0

・供試体寸法と変形方向



建物概要



一般部取付け詳細図

5. 試験結果

段階	層間変形角 (rad)	試験結果
1	±1/500	異常なし
2	±1/300	異常なし
3	±1/200	異常なし
4	±1/150	-1/150 時に 2-23 パネル左角部ひびわれ発生
5	±1/120	-1/120 時に上記同パネル左角部ひびわれ伸張
6	±1/100	-1/100 時に上記同パネル左角部ひびわれ裏面に貫通